

愛の果てに (1993)

THE INNOCENT

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 119分

初公開日 1994/05/07

公開情報 パイオニアLDC=テレビ東京=日本出版販売=ヒューマックス=ギャガ提供/ヒューマックス=ギャガ

【解説】

「カサブランカ」の現代版焼き直してふれこみですが、冗談も休み休み、だ。原題は“無垢”。主人公の英軍関係の青年レナード（C・スコット）が童貞クンなのでそうなのかな。彼は凄腕の米国諜報員グラス（A・ホプキンスが米俗語を使うのって見たくない）の、ベルリンの地下トンネルをめぐる米ソのスパイ戦に参加、電話の盗聴の仕掛けをする。ある晩、グラスとクラブに行ったレナードは美しいドイツ女性マリア（ロッセリーニ）に恋する。愛の生活を営み始める二人の前に、彼女の過去の秘密を握る男オットーが立ちはだかるが、彼は何者かに殺されてしまう。犯行を否定するマリア。しかし、このままでは二人が疑われるのは必至だ。死体をバラバラにしてトランクに詰め運び出すレナード……。もはや、彼には国外脱出しか道は残されていない。グラスの手引きで輸送機に乗り込み、マリアの同乗を促すのだが彼女はそれを最後に拒む。そして30年の月日が経ち……。監督は「ヤンクス」などこの手の戦争メロドラマにもある程度の腕は見せたはずのJ・シュレシンジャー。彼のような実力派がこなしていたらということは今、何よりも悲しい。美しいロッセリーニをどうして誰も活かすことができないのか？

【クレジット】

監督	ジョン・シュレシンジャー	John Schlesinger
製作	ノーマ・ヘイマン	Norma Heyman
	クリス・ジーヴァニッチ	Chris Sievernich
	ヴィーラント・シュルツ=カイル	Wieland Schulz-Keil
脚本	イアン・マキューアン	Ian McEwan
撮影	ディートリッヒ・ローマン	Dietrich Lohmann
音楽	ジェラルド・グーリエ	Gerald Gouriet
出演	イザベラ・ロッセリーニ	Isabella Rossellini
	キャンベル・スコット	Campbell Scott
	アンソニー・ホプキンス	Anthony Hopkins
	ハート・ボックナー	Hart Bochner
	ロナルド・ニチエケ	